

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料 4

NO	資料 番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
1	1	3	6~13	まちづくりの目標と方向性について8項目記載されていますが、 1)子どもたちの笑い声があふれるまち の後に(子ども)、 2)みんなが生き生きしているまち の後に(福祉) のようにタイトルの後に()書きで基本計画に記載されている通りの目標となる項目を 記載した方が分かりやすいと思います。	目次について修正します。	
2	1	6	14	実施計画の期間は3か年と記載されていますが、基本構想と基本計画の期間の記載に 合わせて3か年→3年とした方が良いと思います。敢えて「か」を入れる必要はないのではないですか。	3年に修正します。	
3	1	13	下から 9	中高年の引きこもりを背景とした「8050問題」、とありますが、 「8050問題」についても、注などで、80代の親が50代の子どもの生活を支えるという問題というような簡単な説明を 付けた方が分かりやすいと思います。	注釈として表示します。	
4	1	21		基本構想に掲げる目指す都市像として『海と社に育まれる楽しい塩竈』ということで構いませんが、塩竈の基本的な アイデンティティとして、長い歴史の中でも「みなとまち」という言葉は不可欠だと思いますので、他のところにも 「みなとまち」という言葉は出てきますが、目指す都市像の説明として「みなとまち」という言葉を明記しておいて 欲しいと思います。 第二管区海上保安本部が塩竈市にあるということと、仙台港や仙台空港を所管する国土交通省の東北地方整備局の事 務所名が「塩釜港湾・空港整備事務所」となっていることは塩竈市が港とは切っても切れない特別な関係にあること を示しています。	ご意見を踏まえ以下のとおり修正します。 修正前： 「多彩な魅力を生かしたさらに楽しさあふれる暮らしを、市民をはじめとした多くの 方々と共に創り上げます。」 修正後： 「多彩な魅力を生かした 楽しさあふれるみなとまち を、市民をはじめとした多くの方々 と共に創り上げます。」	
5	1	27		絵についての意見も出ていたので、活動の参加は、女性の方が多く、女性の人数を多くしてほしい。（ラジオ体 操のイラスト）	他のもの含め、基本構想の文章がよりイメージできるイラストとなるよう、イラスト レーターに依頼します。	
6	1	27	下から 2	いきいき楽しく → 生き生き楽しく 「いきいき」はひらがなでも構わないのですが、漢字を使用しているタイトルと合わせた方が良いと思います。	「生き生き」に修正します。	
7	1	28		「医療の枠を超えて」を加えていただいたのは素晴らしいと考えます。		
8	1	29	3	「バリアフリーも進んでおり～」は文脈から「進んでいて」のほうが良いと思います	ご意見を踏まえ「バリアフリーも進んでいて」に修正します。	
9	1	30	下から 3	「3R（スリーアール）活動」については、下記のような注をつけるなどもっと分かりやすい説明が必要と思いま す。 リデュース（Reduce）：ごみを減らす（発生抑制）、リユース（Reuse）：繰り返し使う（再利用・再使用）、リサ イクル（Recycle）：ごみをもう一度資源にする（再資源化）の3つの言葉の英語の頭文字をとって「3R（スリーア ール）」と言う。	注釈として表示します。	
10	1	34	3	(1) 地域資源を最大活用した観光メニューの創出 ①歴史文化を始めとする地域資源を結びつけることにより、ストーリー性/塩釜で・・・ →ここでも同じ様に隣接市町や他団体との連携が肝要ですね、塩釜だけと云う表現はあ まり強調しない方が良いでしょう。	隣接市町や他団体との連携強化についての施策は、(2)②③で掲げるものとしてま す。	

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料 4

NO	資料 番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
11	1	34	11	②市民・団体・企業・行政が一体となった「人づくり」「体制づくり」 →やはりこの考え方が肝でしょうね、更には隣接市町との連携も不可欠ですから、歴史的背景からすれば二市三町（或いは鳴瀬地域も）の広域観光連携でしょうか。	今後も引き続き人材育成や広域連携、団体間の連携強化に重点をおきながら、観光のまちづくりの推進に努めてまいります。	
12	1	36	10	学んだ成果を生かせる機会やスポーツに親しめる機会 →学んだ成果を生かせたり、スポーツに親しめる機会 「機会」が繰り返されるので、まとめたら良いのではないかと思います。	前期基本計画でそれぞれの機会提供についての施策を掲げていることから、このままの表現とさせていただきます。	
13	2	10	17	少子化対策に『ワークライフバランス』は不可欠と考えられているので入れてはと思いました。	ご意見を踏まえ以下のとおり修正します。 子育て世代の労働時間の短縮や育児休業制度の普及に向けた意識啓発に努め、企業の子育て支援活動を促進するとともに、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に向けた取組を推進します。	
14	2	11	19	市内の小中学校でも1人1台端末を活用したICT教育を取り入れているようですが、やはりICTの活用に積極的な自治体とそうでない自治体があると思います。 ICTの活用に積極的な自治体ではタブレットを各家庭に持ち帰らせて、課題に取り組みせたり夏休みなど毎日の健康調査に使用するなど、積極的に活用しているようです。こうしたところからもすでに自治体との差が開き始めているのかなと感じています。どんどん活用することによって、様々な課題も見えてくるものと思います。先生方の負担も大きいものと思いますが、新型コロナウイルス感染症による臨時休業など、またこの先どんな事が起こるのか誰にもわかりません。子ども達の学びが止まってしまうような状況にはなって欲しくありません。これから先、どんな事が起こっても柔軟に対応できるように、塩竈市では他の自治体よりも1歩でも半歩でも先を行くようなICTの活用を行って欲しいと思っています。現状として、どの程度環境整備はすすんでいるのでしょうか。	国のGIGAスクール構想に基づく、タブレット端末や無線LANの整備を行っております。また、オンライン学習のための貸出用wi-fiルーターや教員用マイク・カメラも整備しております。一方で、持ち帰りによるオンライン学習を行うためには、児童生徒の情報活用能力の向上や機器操作の習熟が必要と考えています。そうしたことから、今年度からICT支援員を配置して、教員の情報教育の支援を行い、子どもたちの情報活用能力の向上や機器操作の補助等を行っているところでございます。なお、現在、オンライン学習を含め、校外への情報通信量の拡大に対応した通信速度向上のための設備改修（ローカルブレイクアウト※）を行っており、8月末には完了する予定です。 ※センター集約型から、各学校の一部回線を直接インターネットに接続する方式	
15	2	11	22	各学校の現状を聞きますと学校によっては天井の崩落があったり、危険な箇所には杭を立てたりトラロープをはったりしているそうです。優先順位がある、という事で市や教育委員会にはすぐに対応してもらえない、というのが現状のようですが…子ども達が毎日過ごす学校にトラロープがはってあったり、危険な箇所があるというのは保護者としても大変心配なところです。子ども達が安全.安心で快適な学校生活が送れるように、今すぐにも環境整備を行って欲しいです。子どもの命に優先順位はありません。予算.優先順位…これが今の現状ですが、計画に入ればスピーディーに進むのでしょうか。	これまで子どもたちが安全に過ごせるよう、耐震補強工事や長寿命化改良工事を行っております。 第6次長期総合計画においても「安全・安心で快適な学校生活が送れるよう、施設の良い環境整備に努めます。」と施策に掲げており、施設の改修については、できる限り速やかに対応してまいります。	
16	2	12	5	PTA活動や子ども会活動などの活動を支援するとありますが…地域によって、子ども会の未加入率がどんどん高くなっていると聞いております。会費もかかります、子ども会に加入する事へのメリットを感じない保護者の方も増えてきております。ここで示されている、活動支援とは、具体的なものとしてどんな事をお考えなののでしょうか。	PTAや子ども会活動への支援内容は、活動経費への助成のほか、地区子ども会活動のリーダー養成の研修会の実施などです。 この他の具体策については、今年度策定する生涯学習プランの中で検討してまいります。	

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料 4

NO	資料 番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
17	2	12	10	最近では「ついで見守り」とも言われるようです。「ながら見守り」というと、スマホしながら、運転しながら…など2つの行動を平行してする事になってしまうので、買い物ついでに、散歩ついでに…の方がいいのかなと個人的に思いました。 ながら見守りの方が耳に馴染みやすいのであれば、あわせて「ついで見守り」を付け加えてもいいのかなと思います。	ご意見を踏まえ「ながら見守り」や「ついで見守り」に改めます。	
18	2	13		一時預かりについてですが、目標値を増やす意図とは？保護者の就職活動であったり、急な用事や保護者のリフレッシュの為に利用するという事もあるが、保育所に入れないから（待機児童）、止むを得ず一時預かりを利用しながら仕事をするというご家庭もありますが…件数を増やす意図はどこにあるのか教えてください。	一時預かり事業については、入院や出産など、保護者が緊急を要する場合やリフレッシュ、就労のためなど、できる限り保護者のニーズに対応しながら 在宅の親子の支援を充実させ、利用者数の増を指標として設定しています。 また、新たに待機児童に関する成果指標を設定いたします。	
19	2	18	6	(1)③在宅で介護をする家族へのきめ細かい支援を継続します。→家族だけでなく、本人への支援も文章に記入してほしい。	本人への支援については（1）②の施策ではありますが、誰に対する支援なのか明記されていなかったため、「日常生活の支援」の前に「高齢者の」を追記します。	
20	2	18	3,11	(1)と(2)のタイトル中の表現について、17ページの第2章のタイトルに合わせて、「いきいきと暮らせる」→「生き生きと暮らせる」とした方が良くないかと思ひます。	「生き生き」に修正します。	
21	2	18	9	安心した暮らし→安心できる暮らし	「安心な暮らし」に修正します。	
22	2	18	下から 4	民生委員児童委員→民生委員・児童委員 児童委員は児童福祉法で民生委員を兼ねることになっていますが、それぞれ役割が異なるので、「・」を付けた方が良く思ひます。	「民生委員・児童委員」に修正します。	
23	2	19	下から 6	調和のとれた食生活→バランスのとれた食生活 食生活について「調和のとれた」という形容詞はあまり使われていないのではないかと思ひます。	本市の食育推進計画とも整合性を図り、健康的で栄養バランスのとれた食生活とあわせて、生活リズムも望ましいスタイルにすることも含めた表現として「調和のとれた食生活」としています。	

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料 4

NO	資料番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
24	2	20	下から5	市立病院については、消化器系を中心とした急性期医療～とありますが、消化器系を中心とした理由は何かあるのでしょうか？市立病院については、今後の在り方について別途の委員会で議論されているとも伺っておりますが、そちらの委員会での結論なのでしょうか？市民の立場からは、急性期医療については、呼吸器系や循環器系なども含めてもっと幅広く対象としていただくことを希望されると思います。	医療がますます細分化・高度化している現在にあつては、単独で全ての医療を提供することは困難であり、病病連携や病診連携が欠かせない状況となっています。 このことから、市立病院については、「消化器系を中心とした急性期医療」という表現にしており、心疾患や脳血管疾患などにおいては、近隣の病院と協力して対応していくこととしています。	
25	2	20	8	この項はとても重要と考えます。福祉、医療の行政の拠点の役割を市立病院が果たすという考えを盛り込んでいただき、感謝し期待します。		
26	2	21	11	NO5施設就労者の一般就労への移行者数について 障がいのある人への一般就労の就労移行支援の案内が7月に2件あり、雇用に力を入れていると感じておりました。 「施設就労者」と限定したのかわからないので教えてください。	「施設就労者」は「施設利用者」の誤りでありました。また、分かりやすくするため「障がい福祉施設利用者」に修正いたしました。	
27	2	26	下から11	10年に1度の雨量にも対応できるようにとありますが、従来の整備基準と比べてどうなったのでしょうか？基準を安全サイドで見直されたのでしょうか？ 近年、地球温暖化の影響もあり、自然災害が多発する中で国も国土強靱化ということでいろいろな緊急対策を実施しておりますが、それとの関係でも説明があった方が良いと思います。	10年に1度の雨量（10年確率降雨）につきましては、平成6年策定の塩竈市総合治水計画や現行の下水道事業認可計画と同水準となっております。 下水道事業としての整備基準の大きな見直しは行っておりませんが、国の国土強靱化計画の各メニューについて、緊急対策として活用可能なものがあれば、市として実施等の検討をしております。	
28	2	28	下から2	「3R（スリーアール）」活動について普及啓発を促進するとありますが、資料1（基本構想）28ページのところで指摘したのと同様な分かりやすい説明を付けて欲しいと思います。	注釈として表示します。	
29	2	29		成果指標7の空き家活用の件数について、現状1件が100件の目標である。達成可能なのか。	再度精査した結果、以下のとおり修正します。 【修正前】1件（R1年度）→100件（R8年度）※5カ年累計 【修正後】6件（R1年度）→45件（R8年度）※5カ年累計	
30	2	37		成果指標1の「鯉・鮪一本釣漁船における冷凍カツオ・マグロの水揚量の割合」について、意味・ねらいが良く分からない。冷凍の割合を上げるためなのか、魚種の拡大のためなのかご説明を。	第1節（2）①において、新たな取り扱い魚種の拡大推進を掲げており、その施策につながる指標となっています。	

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料4

NO	資料番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
31	2	37		成果指標1の「鰹・鮪一本釣漁船における冷凍カツオ・マグロの水揚量の割合」について、鰹・鮪一本釣漁船の冷凍物と水揚量割合の目標設定は理解できず。遠洋鮪漁船（延縄漁）漁獲は全て凍結であり、魚市場における売買時には解凍して入札となるので、生ものと凍結物の比率はあまり有効な目標値設定ではない。他にも巻き網漁業があります。ほぼ同じです。目標値の設定は魚種別の水揚げ量か水揚げ金額が妥当だと思慮いたします。	第1節（2）①において、新たな取り扱い魚種の拡大推進を掲げており、その施策につながる指標となっています。	
32	2	43	9	(3) 笑顔でのおもてなしとシビックプライドの醸成 ①で表記されている、担う「人材育成」団体との「連携強化」が一番の肝だと考える。 つまりは街づくりができる人づくりが重要で、隣接する市町との連携も含め、他団体とも同じ目的意識を持てる様に定例会等、おもてなし側同士の交流を進める。	今後も引き続き人材育成や広域連携、団体間の連携強化に重点をおきながら、観光のまちづくりの推進に努めてまいります。	
33	2	44		成果指標1の「観光客入込数」と3の「観光案内所の利用者数」について、現状と目標が同じなのは控えすぎでは？コロナ禍の落ち込みをまず回復とのことだが、逆にコロナで「安短経」や足元の観光の見直しもあり、がんばりどころでは。南門復元で盛り上がる多賀城との連携もぜひ。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 ・観光客入込数目標値 236.9万人（R1年度）→244.2万人（R8年度） ・観光案内所の利用者数 16,692人（R1年度）→18,000人（R8年度）	
34	2	64	1	(1) 留営汽船の利便性確保と経営の安定化 例えば、民間委託と云う選択肢についての議論は出来ないのでしょうか。	第2期交通事業会計経営健全化計画（H27～R6）策定時の島民懇談会では民間委託について反対意見が多数を占めたほか、民間委託の可能性調査においても、その時点で運行業務の全てを引き受ける民間事業者の存在は極めて少ないという結果となりました。このことから、経営健全化を進めながら現在の運行体制を維持しております。今後の社会経済情勢の変化を踏まえながら、次期経営健全化計画策定の際に検討してまいります。	
35	2	67		成果指標1の「浦戸ブランド新商品開発数」と3の「アンケートで浦戸の1次産業について興味があると回答した割合」について、浦戸の持続可能な振興のため、ぜひ計画的、継続的、重点的に政策を進めてほしい。	浦戸振興については、第6次長期総合計画において分野を独立させたことや未来創生プロジェクトにも盛り込んでいるなど、重点化を図っています。	
36	2	100の暮らしにかか る前頁		描かれたイラストが全てブルーですので寂しくて変化を見出せず、パスしたくなります。ぜひカラー化して下さい。	現在イラストをカラーにする方向で検討中です。	
37	2	成果指標にか かる前頁		現状値%、目標値%を出来るだけ数値化して下さい。県平均を上回る、基準値を超える数値とする、増加させていく、100%に近づける等は目標値とは言いにくい。出来るなら数値化してわかりやすくしてほしい。重要業績評価指標（KPI）も同様に検討されたい。	今年度中にアンケート調査を行うため、基準値が設定できない指標があることから、目標値についても「基準値を超える数値」と設定しているものです。	

第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について（まとめ）

資料 4

NO	資料番号	ページ	行	ご意見	反映状況等	備考
38	全般			浦戸諸島については、今後の時代潮流の変化を踏まえて塩竈市の将来を考えるときに、貴重な地域資源として活用する価値が高いと思われるので、是非、今回の計画の重点事項として欲しいと思います。離島振興については、とかく非効率であることが批判されやすいですが、塩竈市が「みなとまち」として今日存在しているのは、浦戸諸島の存在抜きには語れません。塩竈市民はもとより、対外的にも浦戸諸島の存在を強力にアピールすべきだと思います。	浦戸振興については、第6次長期総合計画において分野を独立させたことや未来創生プロジェクトにも盛り込んでいるなど、重点化を図っています。また、今後の取組の中で、浦戸諸島のPRについても強化してまいります。	
39	全般			水産加工業は、外国人労働力の存在なくしては産業として成り立ち得ない状況になっておりますが、先日の委員会でも会長からご指摘がありました。自治体単独では解決不可能な課題も多いので、政府に働きかけることも含めて施策の中に加えて欲しいと思います。	ご意見を踏まえ以下のとおり修正します。 (2) 地域特性や地域課題を踏まえた雇用創出と産業共創 ①産業の大きな課題となっている人材不足の解消に向けて、多様な人材が活躍できるよう、制度拡充などについて国に働きかけるとともに、雇用環境の整備を図ります。（新たに追加）	
40	全般			成果指標の目標値については、数字の根拠や考え方についての説明を付けていただきたいです。また、先日の委員会でも会長からも空き家について言及がありましたが、目標数値の達成可能性については、大変難しいながらも、過大とも過小ともならないように十分吟味していただきたいです。	指標の目標値について別途一覧表にて根拠を示します。目標値の設定については、それぞれの指標に応じて、今後5カ年を見据えて適切な値を設定します。	
41	全般			しおがま未来創生プロジェクトについては、重点施策として具体的な施策が広範に亘って掲げられておりますが、行政のお立場としてはある程度並列的に記載せざるを得ないことは理解できるものの、総花的になってしまっ、目玉のプロジェクトが見えてこないような気がします。	しおがま未来創生プロジェクトにおいては、「すみよさ」「よろこび」「やりがい」「にぎわい」を市民に実感いただけるよう、まずは目標値を定め、それに向けて重点的に取り組む施策を掲げております。 このことから、それぞれのプロジェクトの図に記載している大きな柱に沿って、分野横断的に取り組んでいくものとしています。	
42	全般			推進体制と進行管理については、先日の委員会では簡単な資料しかついておりませんが、あまりにも抽象的で一般的な内容なので、もう少し塩竈らしさ（今回の委員の構成に当たって導入された次世代の活用なども要検討）を出して欲しいと思います。	ご意見を踏まえ内容を充実させます。	